

# 躍動

T GスポーツOB連合会報  
第 5 号  
平成 25 年 11 月 18 日発行  
企画広報委員会編集  
(躍動・本間良一前会長書)



## 新任のご挨拶

会長 仲 嶋 一 雄

この度、T GスポーツOB連合会の会長に就任しました仲嶋です。

本会は東北学院体育会を卒業した各部からなる、43団体卒業生は1万5千人を擁します。主旨は東北学院の大学スポーツの振興と発展を目的にしております。しかし近年は東北の私学の雄としての実績は残されなくなってきており、卒業生や運動部のOB方々は強い危機感を持っております。それ故に、この会は東北学院大学運動部の復活の一助にならなければなりません。各OB会と大学が協力すれば、全国大会でも勝てる運動部が数多く出て魅力ある大学になります。

T GスポーツOB連合会の年間行事としまして優秀団体及び優秀選手の表彰（勲功章）・団体対抗親睦ゴルフ大会等をおこなっております。昨年で勲功章の表彰された団体と個人は458号までとなりました。しかし対象者は年々少なくなっており残念です。

部活と勉学に一生懸命打ち込んでいる学生を温かく見守り、大学とかかわりを持ちながら部の強化に貢献するのが東北学院体育会関係者の素晴らしい伝統です。この精神を堅持し、更なる強い運動部の実現に本会は寄与していきます。各OB会の皆様方の融和と団結を図りながら会を運営していきますのでご指導ご支援の程宜しくお願い致します。

## 本間体制の8年間と中嶋体制への期待

副会長 高橋 富士男

今年2月の総会において理事長を辞した。本間良一会長の辞意に伴う一蓮托生でスッキリとした気分である。

江馬会長（山岳部）の後任として本間会長（サッカー部）が就任したのは今から8年前である。不肖、私が森俊博幹事長（空手道部）のあとを受けて幹事長となった。（その後に幹事長を理事長、幹事を理事に改称）

本間会長になってから総務、財務、企画広報の三つの専門委員会を立ち上げた。常任理事を15名に増員し5名ずつ各委員会に就いてもらったが役割分担を決めて会の活性化を図りたいとの狙いであった。

次いで会報の発行を企画広報委員会で検討してもらい常任理事会、理事会において承認してもらった。会報は単なる「TGスポーツOB連合会報」では面白味もないし、今後の会の活性化、発展を期して「躍動」とした。その字体については本間会長にお願いし筆をとっていただいた。

次に本会の基本となることであるが、加盟届を各団体に再度提出してもらうことを昨年の常任理事会で検討し、今年の総会において承認された。体育会所属部OB会が44部、応援団OB会と体育会常任委員会OB会の2団体を加えた計46団体で構成しているが、実態はOB会がないところや会はありながらも活動していないところもあり、ここで脱退のOB会があることも了として加盟届を提出してもらうことになった。

そもそも本会のスタートは昭和40年代の学園紛争の頃で、体育会の一部指導者やOB有志が大学を守ろうと立ち上がったことにある。春秋会の名称で発足されたが、加盟しているとの認識のないOB会もあったかと思われる。そんなことから発足当初から年会費未納のOB会があったり、納入が途切れたりするのはとの推測もできよう。



8年間のご尽力に感謝状を

すべてのOB会に新たな加盟届を提出してもらいたいと思っはいるが、現段階でも未提出のOB会や退会したいと意思表示のOB会もあるようだ。そこは仕方なしとして再出発し、簡単ではないがこれらのOB会が再度加盟したいと思えるような組織にするしかない。

本間会長の支えがあつて専門委員会の立ち上げや機関誌の発行、そしてゴルフ大会の開催なども実現できた。これからも名誉会長として大所高所からいろいろとご指導をいただきたい。

新会長には副会長であつた仲嶋一雄氏（ハンドボール部）が、理事長には常任理事の大友富雄氏（ゴルフ部）が就いた。そして、3名枠の副会長にはOB会長枠として佐藤順氏（サッカー部）が新たに就き、監督会長枠として栗野眞氏（ライフル射撃部）が留任、そして、会長指名枠に不肖私が就くことになった。これら3名の副会長には各専門部会も担当してもらふこととし、財務担当に栗野氏、企画広報担当に佐藤順氏、そして総務を私が担当することになった。

仲嶋新会長にはとにかく会の活性化に向けた諸々の策を講じていただき檄を飛ばしていただきたい。かつては監督会から発信して学生部長や体育会長などの体育会と関係する部署の長と時には鍋を突きつつ懇親の場を設けていろいろな意見交換をしてきた。スポーツ推薦制度の誕生もこういった状況の中から当時の学生部長や体育会長の理解と行動で実現できたことであつた。監督会に苦言を呈するようであるが、このところの監督会に勢いが感じられない。そんなことから仲嶋会長を中心として、体育会に関する大学役職者との意見交流の場を設けていきたい。

東北地区大学総体においてかつてはほとんどの部が優勝していたが、最近では優勝の部は数えるくらいである。大学の体制を責めたくなくなる気持ちも大いに理解できるが、まずは各部の指導体制を整えて部の体制を強化することが肝要であろう。たまに部員の前に姿を見せるような方に「監督です」などと言ってほしくない。いま、40を超える部のなかで監督やコーチが部員の前にほぼ毎日顔を出して指導している部がいくつあるだろう。確かに大学の体育会の強化に関する姿勢には大いなる不満を持つが、現場にときおり足を運ぶような監督では説得力もないし、大学批判をされても大学当局は痛くも痒くもないであろう。

先の教授会で二つの競技部が特別強化部として数人ではあるが授業料免除の制度が承認されたという。このことは今の学院にとって画期的なことである。この特定強化部については当然のことながら全国区の活躍が要求されるわけである。それほどの強化費もあるわけではなく（多分）、指導者はそれなりの苦勞であるが、TGスポーツ再生のトップランナーとしてとにかくがむしゃらに走ってほしい。

仲嶋新会長は同窓会の宮城野支部長でもあるので同窓会関係で学校役職者との交流の場も多い。勝手はことを言わせてもらえば新会長には大学執行部がびっくりするようなフライング覚悟での大胆な発言、行動にも期待をしたい。私はこの3月まで学院の職員として30余年間を過ごしてきた。学外の指導者に比べると恵まれた環境のなかにいたが、それでもいろいろの制約があつた。4月からはしがらみもないので気楽に道場に通っているとこである。



2013 アジアマスターズオープン大会にて

## 佐藤今朝善君を悼む

前ボクシング部長 押木由之

9月10日の夕刻、海老田保夫顧問より「佐藤今朝善監督の帰幽」の報をうけました。身体頑健で元気いっぱいの貴兄が病に倒れることは、俄かに信じる事が出来ず、直ちにコーチの平山君に連絡し、事の詳細について知るに至り、驚愕した次第です。

思えば、小生が「佐藤今朝善君」の名前をはじめて記憶に留めたのは、貴兄がまだ法学部の学生であった頃、貴君のゼミの指導教授であった佐藤昌彦先生が青山学院定期戦での貴兄の活躍ぶりをうれしそうに話されていたのが最初でした。その後、本格的に貴兄との交流を持ったのは、今から20年余り前、柴田誠先生の後任として小生がボクシング部長に就任し、貴兄とは監督と部長との間柄となってから、互いに法学部の先輩後輩という関係も手伝い、それ以来この3月、小生が大学を定年退職するまで二人三脚で学院大ボクシング部の一つの時代を築くことができたことは、私自身の人生にとっても忘れることの出来ないものとなりました。

貴兄との思い出は尽きる程沢山あります。たとえば、対青山学院定期戦に学生と共に渋谷の安宿に雑魚寝をしほとんど眠ることができずに翌日の試合に臨んだことや、夜の銀座でタクシーの中に財布の入ったバックを忘れ大失態をした話など今となっては、みな懐かしく思い出されます。

その後、暫く途絶えていた対青山学院定期戦も貴兄の尽力により今秋から復活することで決し11月に実施されることになっていた矢先でした。また、11月2日には創部60周年の記念式典も計画され、この事業でも小野潔OB会長共々中心的役割を担っておられました。

現下の大学のサークル活動の低迷は目を覆う近況下にあるなかで、ボクシング部がその伝統を受け継ぎ、曲がりなりにも部活動を継続し、最近では在部経験者の中から世界チャンピオンまで輩出するなど、活動できたのは佐藤今朝善監督の指導力の賜物との思いを深くしております。

なお、氏を最後に看取ったK病院のH医師は筆者の主治医であり、偶然とはいえ、奇しき因縁を感じずにはいられない思いであります。

疾風怒涛の如く、この世を駆け抜けた佐藤今朝善監督の霊が幽界にあっても安からんことを祈りつつ一筆認めました。

合掌。



## 各部から

## ア メリカンフットボール部

### 「アメリカンフットボール部 創部40周年を迎えるにあたり」

弊クラブが来年創部40周年を迎えるにあたりOB／OG会役員の世代交代をする事となり、昭和56年経済学部経済学科卒業の不肖私、高橋公晴が会長の大役を仰せつかりました。

現在約300名程の会員がおりますが、全会員に大学、現役の現況を知らせる事の出来るように、名簿を整理し、情報共有出来るところから始めたいと考えております。

昨シーズンの戦績は東北リーグの3位に甘んじており、是非とも東北の雄に復活させる為に、鹿野監督はじめコーチングスタッフを中心に、OB／OGが一丸となり現役に応援できる体制を構築させて行くべく動き出しております。

現在現役プレーヤーは32名しかおらず、怪我等も多く満足のいく練習がなかなか出来ない現状であり、週末の練習には若手OB／OGを中心にコーチングスタッフとは別に毎週約10名程のOBが防具に着替え、練習相手になってもらっております。

また東北学生アメリカンフットボール連盟の運営、審判部の仕事も積極的に参加し、東北のアメリカンフットボールの未来を見据えて日々活動しております。

関東、関西、そして北海道地区には高校フットボールが存在しておりますが、この東北の地には何度か創部の動きはありましたが、未だ産声は上がっておりません。

リーグの発展と我部の復活を考えればクラブチームでもいいので、この数年のうちに是非とも、東北学院大学、そしてスポーツOB連合会皆様の力をお借りし、何とか実現に向けて努力する所存でおります。

最後になりますが、創部から今まで支えて頂きました東北学院大学、スポーツOB連合会の皆様にご場をお借りしあらためて感謝申し上げます。

#### 現役学生の活躍状況、現況など

数年前の部員不足によるリーグ戦欠場から徐々に部員数も増え、着実に成績を取めてきた。

2013年は更なる飛躍を望むべく、日々鍛錬を行っている。

#### 【成績】

2010年 東北学生2部リーグ優勝 1部昇格

2011年 東北学生1部リーグ4位

2012年 東北学生1部リーグ3位

また、夏期休暇期間の課外活動として、三沢米軍基地内でキャンプを行いフットボールを通じた国際交流を行っている。キャンプ期間中は「Robert D.Edglen High School」の学生と寝食を共にし、清掃活動などのボランティア活動などを行っている。



三沢米軍基地でミニキャンプさせて頂きました。

#### 3月卒業生の進路

科研製薬株式会社

株式会社七十七銀行

宮城県警察

フジタ道路

石巻地区広域行政事務組合消防本部

株式会社タカムラ

株式会社後藤組

トヨタカローラ山形株式会社

大和ハウス工業株式会社

#### 4月入学の有望選手

・村上友亮（仙台育英）

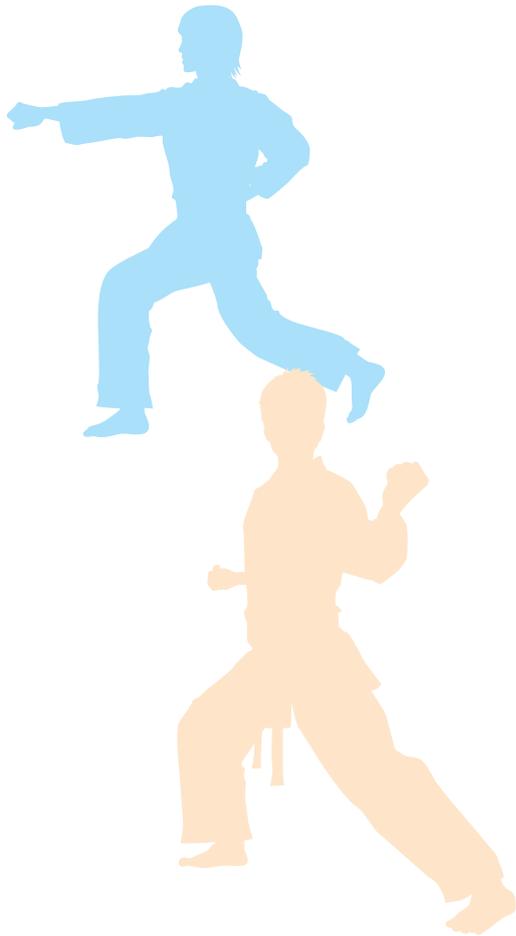
高校時代に野球部で培った体力と根性で厳しい練習を黙々とこなし頭角を現してきた。まだまだ粗いが思い切ったプレーと元気が魅力。

アメリカンフットボール部OB／OG会  
会長 高橋 公晴

## 空手道部

### 当会の活動・現状など

- ・事業目的
  - 1) 会員親睦と現役の活動支援
  - 2) 関連団体との連携・協力
  - 3) 空手道の普及・指導・発展
  - 4) その他
- ・年間事業
  - 1) 総会（10～11月）
  - 2) 富岡杯ゴルフ大会（ ）
  - 3) 会報発行（2月）
  - 4) 現役との交流（各種コンパ出席）
  - 5) その他
- ・若手OBの参集を鋭意検討中です。



東北学院大学空手道部OB会  
幹事長 高橋光夫

## 剣道部

### OB会の活動、現状

- ・年総会 ・OB稽古会 ・学連OB剣道大会出場

### 現役学生の活躍状況、現況

- ・東北学生剣道選手権大会において入賞
  - 男子3位 星野 祐太
  - 女子3位 和田 華林
  - （他、3名が上位選手として全日本学生剣道選手権大会に出場）
- ・全日本学生剣道選手権大会
  - 男子遠藤がベスト32位

### 3月卒業生の進路

- ・刑務官 ・警視庁 ・警察事務役場
- ・トヨタカローラ ・さえきセルバホールディングス

### 4月入部の有望選手

男子

吉田 圭吾（札幌第一）

新入生リーグ戦で1位、実力のある有望な選手である。

女子

畑山 菜摘（柴田）

新入生リーグ戦で1位、実力のある有望な選手である。



東北学院大学剣道部OB会

## 硬式野球部

### OB会活動他

- ・バッティングマシン他寄贈  
(4/15)
- ・OB会ビアパーティ開催  
(8/2 稲荷小路○△□にて)
- ・OB会ゴルフコンペ  
(11/3 太白カントリークラブにて)

### 現役学生の現況他

- ・春季リーグ戦 2位
- ・第8回東北選手権大会 ベスト4
- ・第4回東北三大学連盟オールスター戦  
(本学5名出場)
- ・ハワイ国際野球トーナメント大会  
(本学4名出場)

### 3月卒進路

- ・日本製紙(株) 石巻工場 (社会人野球部)
- ・杜の都信用金庫 ・日本赤十字病院
- ・(株)リコー ・他

### 4月入学選手

- ・小野智大 (利府) 強打・堅守の即戦力選手
- ・佐藤 航 (大湊) 身体能力の高さ・投手として素質は一級品



TEAM											東北福祉大学野球場										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	H	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	H
学院大	1	0	0	0	0	0	0	2	0	3	福大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	U	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	U
右一	三	二	捕	中	外	内	外	中	内	U	右一	三	二	捕	中	外	内	外	中	内	U
三 小 笠 井 神 塚 山 塚	石 柳 野 山	二 五 一 中 田 北 藤 澤 郎	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦
美 秋 川 藤 上 藤 田 城 山 永 木	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦	三 松 友 彦

東北学院大学硬式野球部OB会

## ゴルフ部

### 創部50年に向けて

昭和39年にゴルフ同行会として発足したゴルフ部は、来年創部50周年の大きな節目を迎えます。

これを機に8月11日に杜の都ゴルフ倶楽部で開催されました「第4回TG・チーム対抗ゴルフ大会」に合わせ、体育会ゴルフ部OB会コンペを開催させていただきました。初代部員で、三代目のゴルフ部監督でもある五十嵐一彌先輩以下約30名のゴルフ部OBの参加を頂き、大いに盛り上がりました。

新旧OBの交流はゴルフ部の長い歴史を改めて感じるきっかけを得ることができ、節目を迎えるゴルフ部OBの結束を強めることになりました。

表彰式に合わせて来年の9月に予定しております創部50周年の記念事業に向けての打ち合わせを行いました。まだ1年先ではありますが、名簿整理や式典の内容等、決定しなければならないことが多々あり、今後定期的に有志で集まりながら進めていく予定です。

これまでのゴルフ部の活動にご協力、ご尽力いただいた方々への感謝の気持ちを込めた事業とすべく準備を進めております。



東北学院大学ゴルフ部OB会  
会長 小田桐 和久

## サッカー部

### 第44回対青山学院大学OB定期戦を終えて

8月9日(金)本学サッカー部OB会後援会主催の懇親会を皮切りに翌10日(土)杜の公園ゴルフクラブにおいて、今年1番の暑さの中32名の参加をいただき、44回目のコンペが賑やかに開催された。

本学の立花保夫君が優勝。準優勝は後援会幹事の佐藤克徳さんでした。

夜は恒例の前夜祭が「伊達の牛だん本舗」で開催され、青山学院大学元部長の田所勝太郎先生からご挨拶をいただき、本学からは後援会会長の峯岸良造様から歓迎のことばを述べていただきました。

今年は青山学院大学サッカー部創部90周年とも重なり、本橋OB会長から出席者全員に記念のバッジがプレゼントされ、和やかな雰囲気の中、両校の校歌とカレッジソングを声高らかに合唱し終演となった。

翌8月11日(日)には、サッカーのOB戦が行われ、過去に経験したことのない猛暑の中での試合ではあったが、昔鍛えた体力にものを言わせ、元気にボールを追いかけておりました。結果は久し振りに地の利を生かし勝利した。

今年も大勢の青山学院OBの方々にご参加いただき感謝に堪えません。又、後援会の皆様にも多大なるご支援とご協力をいただきましたことに心から御礼申し上げます。



### 北海学園大学体育会サッカー部創部60周年式典に参加して

去る6月15日(土)北海学園大学体育会サッカー部創部60周年式典及び祝賀会が札幌市内のホテルで盛大に開催されました。



本学サッカー部部長鈴木宏哉先生、副部長の桜井卓氏、そしてOB会からは会長の佐藤順氏、幹事長の武田均氏、それに伊達市サッカー協会理事長（本学50年サッカー部卒）の清野裕氏が出席した。

祝賀会には、北海学園のOBはもとより、大学理事長の森本正夫先生、木村和範学長、向田道範体育会会長を初めとし、道内サッカー協会会長、理事長、そして相手の現役部員を含め200名近くが出席し、定期戦にまつわる様々なエピソード等のスピーチがあり和やかな内に終演となりました。

当日は現役の第59回目の定期戦も開催され、本学が勝利した。

### 平成25（2013）年度新入部員

経 済	橋本 紘希	利 府
経 済	岩手 圭佑	気 仙 沼
経 済	久光 駿太	仙台商業
経 済	小野寺駿人	利 府
経 済	伊東 雅貴	聖和学園
経 済	石関弘一郎	不 来 方
共 生	小柳 秀靖	秋田商業
経 営	菅井 啓	モンテY
経 営	小野 雄斗	宮城県工
法 律	早坂 龍二	東北学院
法 律	熊谷 隼輔	塩釜FC
人 間	宮嶋 正道	宮城県工
地 域	細川 吉弥	盛岡商業

### 期待の新入部員紹介

- ・宮嶋正道（人間科学科1年） 宮城県工業高校・DF

高校ではキャプテンを務め、体格的に恵まれていながらもクレバーなプレーができるセンターバックで将来のキャプテン候補。

- ・小柳秀靖（共生社会学科1年） 秋田商業高校・DF

チーム1の長身選手で攻守ともにチームの武器となり得るセンターバック。実直な性格は試合だけでなくチームにも好影響を与えている。

### 平成24年度卒就職先

セキスイハイム東北、セルコホーム、北日本銀行、東北労働金庫、福島養護学校、アサヒビール、仙台トヨペット、ライフツリー、猿田興業株式会社

東北学院大学サッカー部OB会



## TG山岳会の近況報告

体育会山岳部は昭和13年東北学院高等学部山岳同好会として創立され、以来本年で記念すべき創部75周年を迎える運びとなりました。第57回目を迎える「TGヒュッテ栄光」祭と合わせ記念祝賀会が開催されます。

- 一、体育会山岳部創部75周年記念祝賀会

日時：平成25年10月5日(土) 18:00より

場所：遠刈田温泉「さんさ亭」

- 一、記念「TGヒュッテ栄光」祭

日時：平成25年10月6日(日)

10:00より早天祈祷会

場所：宮城蔵王「TGヒュッテ栄光」

### その他の活動

5月のGWでの現役、OB合同のTGヒュッテ栄光への薪上げ運搬

恒例年4回（7月・9月・11月・12月）の例会登山の実施

### 海外視察

3月30日～4月11日のスケジュールにてネパール「アンナプルナ山系」トレッキング視察を山岳会会員4名で敢行致しました。



東北学院大学山岳部OB会

## 自転車競技部

### 「飲酒運転撲滅トラックミーティング」開催

自転車で帰宅途中、飲酒運転の車にはねられ命を落とした、当時広島崇徳学園高校自転車競技部2年生三浦伊織君の母、由美子さんの手記が、中国新聞の公式Facebook（フェイスブック）紹介されました。



「もうこれ以上、誰一人として被害者にも加害者にもなってほしくない」その切実な願いに対し、同じ自転車競技を愛する者として、仙台でも何かできないかという思いで、「三浦伊織君追悼、飲酒運転撲滅トラックミーティング」と銘打ち、東北学院大学自転車競技部OB会主催による追悼レースを、3月31日に大和町の県自転車競技場で開催しました。

開催決定から大会当日まで3週間程度という大会広報期間でしたが、宮城県自転車競技連盟をはじめとする自転車関係団体、河北新報、県内、近県のサイクルショップなどのご協力を頂き、関係者、参加者合わせ65名が参集しました。



当日は、途中からの降雪の為、予定していたタイムトライアル等は残念ながら中止となりましたが、広島から駆けつけてくれた三浦伊織君のお母さん、由美子さんからその思いを直接聞いたり、ご協賛いただいた賞品の抽選会等で参加者の親交を深め、飲酒運転根絶をあらためて誓いました。



尚、この大会の様子は、大学のホームページでも紹介されておりますので、どうぞご覧ください。

一般道を練習場所にすることが多い自転車競技、安全に自転車の乗れる環境が不可欠。

「無関心が最大の敵」、まさに交通安全の啓発活動は我々の責務でもありと考へ、今後とも飲酒運転撲滅のメッセージを発信していきたいと考えています。



後援、協力団体は、下記の通りです。

#### ○後援

大和町／(株)河北新報社／宮城県自転車競技連盟  
(社)競輪選手会宮城支部／宮城県サイクリング協会  
東北学院大学／東北学院大学体育会自転車競技部

#### ○協力・協賛

BIKE SPORTS.ing／ベルエキップ／銀輪舎  
ハヤサカサイクル仙台中央店／ダイシャリン伊達店  
(株)東北永愛友商事／光洋商事株式会社

#### 3月卒業生の進路

陸上自衛隊／横川ガス石油株式会社(埼玉県上尾市)  
大崎八幡宮

#### 4月入学の有望選手

浅野一輝(東北高校)

東北学院大学自転車競技部OB会



## 現役学生への激励(栄養)会

お・も・て・な・し・の2020年東京オリンピック開催が決まり日本中が喜びに沸いた。そのオリンピック開催の前年が柔道部創部100周年の年である。オリンピックとは関係ないが100年の伝統はそれなりのもので我々柔道部OBにとって忘れられないイベントが2年続くことになる。

さて、柔道部の近年の成績であるが、しばらくの低迷から復活の兆しが見えてきている。低迷と言っても優勝はできないまでも地区2位か3位で全国大会には毎年出場している。授業料免除等の特典であちこちから集めてくる大学に対抗してのことで、この成績にはそれなりの価値はあると思っている。それも佐々木俊三柔道部長、高橋師範、阿部監督、そしてコーチ陣がしっかりと学生と接してくれているからであり、近いうちに東北の頂点に立ってくれて、それを維持してくれるとの期待をしているところである。

OB会として部員の遠征への助成など可能な限りのサポートはしてきたが、今年9月に数年ぶりに部員を招いての栄養会を開いた。前回は柔道部の指導陣が声掛けしての開催であったが、今回は南六会(柔道部OB会)が主催し23名の部員を招いての激励会となった。わがOB会の会則でOB会長の任期は5年一期で再任は不可、となっている。そんなことからお元気な歴代のOB会長さんも多く、ご案内文には欠席でもご祝儀は頂戴します、と言ったおそろしいような内容である。これに指導陣からもそれなりの参加費を頂戴したのでおかげで食い放題、飲み放題でも黒字の決算となった。

飲み放題と言っても今のご時世である。未成年の部員には「アルコールはダメ」との監督からのお達しである。ふざけたところをネットにでも投稿されたらエライことになる。時間限定ではあったがOB会と指導陣、部員が一緒になっての宴は実に楽しいものであった。ぜひ続けていって次は激励会から祝勝会に名を変えて部員とともに喜びを分かち合いたいものである。



## 今春3月卒業生(新会員)の主な就職先

- ・(株)仙台三越
- ・(株)福田組
- ・TOTO東北販売(株)
- ・総合警備(株)
- ・(株)ヤマザワ
- ・(株)クラシマ

## OB会の近況など(昨年10月から今まで)

各事業(総会やゴルフ大会などのOB会の事業等)

- ・南六会報発行～H24年9月1日
- ・南六会役員会～H25年6月6日～90周年会議室
- ・南六会総会～H25年6月15日～ホテル白萩
- ・柔道部後援会総会～H25年6月15日～ホテル白萩
- ・オールTG柔道交流会～H25年6月15日～ホテル白萩
- ・南六会報編集委員会～H25年7月17日～90周年会議室

## 現役部員について

(1) 新入部員の紹介(氏名・出身校・ポジションなど)

- ・郡司 昂平(田村高: +100kg級)
- ・沖井 悠平(東北高: +100kg級)
- ・宇津木亮太(米沢中央高: +100kg級)
- ・森 拓也(新庄東高: 90kg級)
- ・森本 誠也(山形工業高: 81kg級)
- ・宗像 優(田村高: 73kg級)
- ・伊藤 一輝(聖光学院高: 73kg級)
- ・勅使瓦 魁(柴田高: 66kg級)

(2) 今年期待の選手(学年・氏名・期待の理由)

- ・吉田 潤樹(法律3年)

昨年度の全日本学生体重別選手権大会で2年生ながらベスト16に入った。現在も勢力的に活動しており、期待できる。

- ・白鳥 弘樹(経済3年)

東北地区では、実質ナンバーワンの実力だが、実績が伴っていない。今年度は期待したい。

東北学院大学柔道部OB会  
会長 遠藤 浩

## ス キューバダイビング

### 今春3月卒業生（新会員）の主な就職先

- ・竹中工務店 ・レオパレス ・三越仙台
- ・JTB ・三菱金属 ・ツルハ
- ・JR東日本 ・ホンダ

### OB会の近況など（昨年10月から今まで）

- (1) 各事業 OB会開催（佐藤順 顧問退職慰労会）（5/11 国分町 クーパー）
- (2) 活躍のOB（氏名・活動の状況）特になし
- (3) 表彰関係（氏名・卒業年・勤務先）特になし
- (4) 慶弔関係（氏名・卒業年）特になし
- (5) その他、特記事項 特になし

### 現役部員について

- (1) 今年度の目標（競技成績や部全体の目標）
  - ・事故のない部活動
  - ・部員全員のダイビングのスキルアップ
  - ・関東学生潜水協議会主催フリッパー大会において上位入賞
- (2) 新入部員の紹介（氏名・出身校・ポジションなど）
  - ・鈴木愉貴ほか23名

### (3) 今年期待の選手

- ・3年 吉田 雅礼  
水泳部出身者でフリッパー大会の上位入賞が期待される。
- ・2年 阿久津実希  
水泳部出身者でフリッパー大会の上位入賞が期待される。
- ・1年 坂井 章浩  
水泳部出身者でフリッパー大会の上位入賞が期待される。

### その他、会報に掲載して欲しい事項（自由に）

平成25年度は新入部員24名を加え総勢71名の部となった。海洋自習や合宿には安全確保のためコーチ、OB、OGの引率等の協力が欠かせない。7/6～7山形県由良海岸での合宿、8月から数度の牡鹿半島塚浜海水浴場での海洋実習を積んで8/25～9/1まで沖縄県阿嘉島合宿、10月には関東学生潜水協議会主催のフリッパー大会、12月にはクリスマスダイブ、来春には海外合宿の予定となっている。

学生には二度とない4年間で良い仲間作りと思いき出深い学生生活となるよう精一杯、部活に勉学に励んで欲しい、と願っている。

東北学院大学スキューバダイビング部OB会  
会長 武田 幸雄



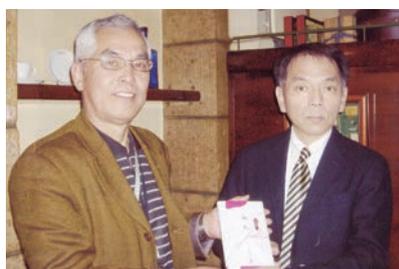


## 会報発行に寄せて

### ○監督交代

平成25年4月26日(金)開催された役員会において、監督交代が承認され、新監督に佐藤達氏(H5卒)が就任した。

前監督 頼藤俊夫氏(S49卒)には、平成14年から11年間にわたり(それ以前には長くコーチとして)ご指導をいただいた。



佐藤OB会長より  
頼藤前監督に慰勞  
の記念品授与

### ○新監督・現役学生紹介(平成25年10月1日現在)

#### 新監督



#### 佐藤 達(さとう とおる)

- ・1970.12.1生 42才
- ・宮城県 仙台市出身
- ・平成5年 経済学部 経済学科 卒業
- ・身長173cm 体重70kg
- ・抱負 大学生と一緒に頑張りたい

#### 現役学生

- ①生年月日 ②出身高等学校 ③身長・体重 ④スタイル(右・左) ⑤得意種目 ⑥所属の関東学生リーグ目標



#### 大場 雄人(おおば ゆうと)

- 経済学部 共生社会経済学科 4年
- ①1992.3.9生 21才
  - ②仙台育英(宮城県 仙台市)
  - ③174cm 68kg ④左利き ⑤エペ
  - ⑥エペ二部昇格



#### 渡辺 健吾(わたなべ けんご)

- 法学部 法律学科 2年
- ①1993.12.8生 19才
  - ②仙台(宮城県 仙台市)
  - ③171cm 65kg ④右利き ⑤エペ
  - ⑥エペ二部昇格



#### 高橋 忠人(たかはし ただと)

- 文学部 歴史学科 2年
- ①1993.7.1生 20才
  - ②北上翔南(岩手県 北上市)
  - ③175cm 62kg ④右利き ⑤フルーレ・サーブル ⑥フルーレ二部昇格



#### 片平 知希(かたひら かずき)

- 経済学部 経済学科 1年
- ①1994.10.12生 18才
  - ②福島商業(福島県 福島市)
  - ③180cm 74kg ④左利き
  - ⑤フルーレ・エペ ⑥エペ二部昇格

### ○対青山学院大学定期戦に連敗

平成25年度の定期戦が、7月6日(土)本学土樋キャンパス体育館において開催された。

OB会から、佐藤彰一OB会長(S45卒)・芳賀俊行OB会副会長(S46卒)・工藤和彦氏(S44卒)真田政行氏(S45卒)・沼田秀穂氏(S49卒)・頼藤俊夫前監督の各氏が応援観戦。

結果は、昨年同様フルーレ・エペ・サーベル3種目共に敗れ、二連敗という多くの課題を残す結果となった。



開会式・選手宣誓



サーベル試合風景

### ○創部60周年記念祝賀会開催の予告

平成26年8月16日(土)仙台ガーデンパレス(仙台駅東口)において、創部60周年を記念する祝賀会を計画。実行委員会を立ち上げ、準備をすすめている。

東北学院大学フェンシング部OB・OG会「つるぎ会」  
事務局 工藤 健二

## ボート部

### OB会の活動

全日本マスターズレガッタ 2年連続優勝

ボート部OB・仙台艇友会一発会は、第6回全日本マスターズレガッタに出場、見事優勝しました。昨年〔カテゴリーF〔60～64才〕〕に続き2年連続の優勝を成し遂げました。

### 第6回全日本マスターズレガッタ

主催 日本ボート協会

2013年5月18日～19日 愛知池漕艇場

### クルー

一発会監督	杉船 敏彦	S45卒
コックス	伊東 俊一	〃
ストローク	鈴木 和雄	〃
三番	鈴木 俊	〃
二番	千田 宏	〃
パウ	成澤 礼義	〃

### 決勝

男子ナックルフォアー カテゴリーG・500M

1. 一発会	宮城	タイム	2'35"80
2. JCB-2	神奈川		2'39"01
3. 団塊号G	神奈川		2'41"53
4. 神漕会シニアKF	東京		2'58"44
5. 名古屋大学艇友会	愛知		3'04"19

### 現役学生の活躍状況

河北レガッタ 6月7日～9日

シングルスカール 準決勝

ダブルスカール 三位

全日本学生選手権 8月22日～25日

ダブルスカール 予選敗退

### 4月入学の有望選手

村上 優貴 塩釜高校

東北学院大学ボート部OB会





## OB会の活動、現状など

会報「躍動」第5号の創刊おめでとうございます。  
これも、学生課を中心とする体育会全体の一致団結の賜物であると確信しております。

昨年、体育会ヨット部は、創立60周年を迎えました。

それに伴い、「創立60周年記念式典」を開催し、学生課の方を始め、TGスポーツOB連合会、青山学院大学体育会ヨット部OB会、関東学院大学ヨット部OB会、東北大学ヨット部など、沢山の方々にご参列頂き、大盛況のうちに式典を終えることができました。

誠にありがとうございました。

我々体育会ヨット部は、この大勢の皆様のご協力とご尽力の上に成り立っていると改めて確信し、今後も皆様のご期待に応えるべく、活動を続けていかなければならないということ強く感じた式典でした。

今年度のヨット部OB会の活動としましては、大震災により合宿所、レスキュー船、レース艇と全てを失ってしまった現役に対する支援を第一に考慮し、出来る範囲で環境の整備を援助していきたいと考えております。

現在、整備環境面での復旧がなかなか進まないのが事実であり、他大学との差が開きつつあるのが現状です。

そして、それを目の当たりにしている現役へのメンタル面のサポートが、とても重要であると非常に感じています。今後も学生課の皆様、及びOB全員の団結した協力体制のもと、現役への支援に努めていきたいと強く考えております。

## 現役学生の活動状況、現況など

現在、現役は七ヶ浜の小浜にて、練習を行っております。昨年度は、隣の吉田浜にて、東北大学の拠点を使用させて頂きました。今年度は、活動拠点を小浜に移動し、宮城県セーリング連盟、宮城県外洋帆走協会と連携しながらの活動しております。しかし、レスキュー船や、合宿所が無い為、必要な場合、他団体からお借りして、とりあえずその場をしのぐという環境には変わりありません。

同じ大学生である東北大学と比べると、肩身の狭い思いを現役は感じております。

そのような中で、今年の5月に青山学院との定期戦を七ヶ浜で行いました。

震災後、初の宮城県開催であり、準備不足も否めないなかで、無事開催することができました。

青山学院も少人数ながら活動しており、互いに友情を深め、共に頑張ろうと、現役たちも良い経験ができたと思います。

この夏、小浜にある建物をお借りして、震災以降、初めての合宿を行いました。もともとこの建物は事務所として建てられた為、合宿所としては大変厳しい環境であります。しかし、その中でも現役は頑張っており活動しております。

残念ながら、今年度はあまり良い成績を残すことはできませんでした。

環境のせいにするのは簡単ですが、それにめげずに、来年の大会に向けて、少しずつ前進し、来年は良い成績を残せるよう、活動しております。

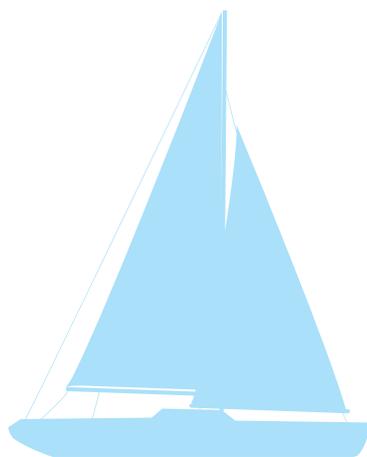
## 3月卒業生の進路

宮古市役所

## 4月入学の有望選手

伊東 歩 (宮古商業)

高校時代に県大会1位、東北大会1位という成績を残し、大学でも同様にしくはそれ以上の成績が期待できるため。



東北学院大学ヨット部OB会  
事務局 木村 公英

## ラグビー部

### OB会の活動

4月 TGラグビー祭

ラグビースクールの児童や不惑チームとの交流及び現役と若手OBによる試合を開催した。試合後には、OB会主催による「新入生歓迎会」も開催された。



9月 TGラガークラブ会長杯ゴルフコンペ

恒例の「TGラガークラブゴルフコンペ」を開催。シニアOBと若手OB入り混じってゴルフコンペを通し交流を深めた。

### 現役学生の活躍状況及び現況

【平成24年度】

- 第14回東日本大学セブンズ選手権大会 東北代表として出場
- 東北地区大学ラグビーリーグ1部 優勝 9年連続15回目の優勝
- 大学選手権東北・北海道地区代表決定戦 優勝
- 第49回全国大学ラグビーフットボール選手権大会（ファーストステージ）  
東北・北海道代表として初出場

### 3月卒業生の進路

・セコム ・塩竈港運送(株) ・(株)サイコー ・東北薬科大学 ・北上地区消防組合

### 4月入学生の有望選手

「ジャパンセブンス2012（高校の部）」（東北選抜がカップトーナメント優勝）に、東北選抜選手として出場した堀内陽翔（佐沼高校）と堀内雄翔（佐沼高校）の兄弟及び高橋竜彦（仙台南）が加入した。

東北学院大学ラグビー部OB会



ワンダーフォーゲル部

## 泉ヶ岳山頂の方位盤を36年振りにリニューアル

今から36年前、当部の創部20周年を記念して泉ヶ岳山頂に「方位盤」を設置しました。

当時は周辺の山々を確認できるということで市民、県民に親しまれていましたが長い年月を経て風雪にさらされ傷みもひどくなり周辺の木々も成長して展望も悪化しました。

そこで、現在よりも展望の良い場所に移設しようとの計画がスタートし、昨年から行われた現地調査で山頂近くの「賽の河原」移設が決定しました。

今年の4月末～5月の連休を利用した建設資材の荷上げと移設作業は一般参加のボランティア及びワンゲル部の現役、OB会員を含め延べ200名の参加人員を数えました。

5月の連休中に土台と台座本体のコンクリート打ちが終了し8月4日に除幕式を行い新しい方位盤が完成しました。泉ヶ岳に登山した際は「賽の河原」に設置した方位盤で周辺の山々を確認し景色を堪能して頂ければ幸いです。

### 今年のOB会の主な活動は次の通りです。

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1月 新年会             | 8月 山小屋（倉石ヒュッテ）夏季点検 |
| 3月 山小屋（倉石ヒュッテ）春季点検 | 8月 方位盤の除幕式及び完成祝賀会  |
| 4月 深山              | 9月 船形山             |
| 4月末～5月 泉ヶ岳方位盤移設作業  | 10月 倉石ヒュッテ祭        |
| 5月 徳仙丈山            | 11月 忘年会            |
| 7月 尾瀬ヶ原            | 12月 現役 納会          |



泉ヶ岳山頂での除幕式の集合写真



完成した方位盤の写真

東北学院大学ワンダーフォーゲル部OB会  
会長 川村 光保

## ボクシング部

### 今春3月卒業生（新会員）の主な就職先

（個人名でなく企業名等）

中島秀一（法律学科） 警察官志望

### OB会の近況など（昨年10月から今まで）

- （1）各事業（総会やゴルフ大会などのOB会の事業等）
- ・OB会総会 5月11日～場所 スマイルホテル
- ・幹事会 7月6日～場所 サテライトスタジオ
- ・幹事会 7月27日～場所 サテライトスタジオ
- ・創部60周年式典 11月2日(土)
- 仙台国際ホテル午後6時より

### 現役部員について

- （1）今年度の目標（競技成績や部全体の目標）
- 東北大会での優勝者
- 北海学園大定期戦の勝利
- （2）新人部員の紹介（氏名・出身校・ポジションなど）
- 黒沢祥吾（経営秋田中央高校、ライト級）
- （3）今年期待の選手（学年・氏名・期待の理由）
- 黒沢祥吾（1年）
- 昨年度インターハイ出場、ファイタータイプで攻防バランスが取れており全日本選手権出場を目標としている。



東北学院大学ボクシング部OB会

## 応援団

### OB会の活動、現状

各事業

- 5月 応援三者団結懇親会
- 5、6月 対青山学院大学・北海学園大学総合定期戦交流会
- 5月 ゴルフコンペ
- 6月 後援会総会
- 8月 強化夏合宿
- 10月 ホームカミングデーにて応援披露
- 11月 全日本大学応援団連盟本部校記念祭
- 12月 納会（演武会）・幹部交代式
- 1月 新年会
- 3月 追い出しコンパ
- 随時 各種応援活動への支援、指導、観覧など。

### 現役学生の活躍状況

幹部3名、2年目3名、1年目1名の計7名で活動中。

団三則の「礼儀」「責任」「闘志」に則り東北学院大学の発展に寄与するよう日々精進しております。

今までは少人数で構成していたため活動は硬式野球部への応援に偏ってしまっておりましたが若干ながら団員数も増加いたしましたので、各団体からの応援依頼をお待ちしております。

### 卒業生の進路

卒業生1名。

広島大学 大学院へ進学。

### 4月入学の有望選手

男子団員1名入団（気仙沼西高校出身）

元気良し。夏合宿にて団旗の掲揚に成功。

### その他

当団OBの武田正（昭和34年卒）が長年にわたる仙台市への貢献を評価され瑞宝中綬章を受賞いたしました。

東北学院大学応援団OB会

## 第4回チーム対抗ゴルフ大会

今年も夏の日曜日、8月11日に80名が杜の都カントリークラブに集い、珍プレー、好プレーの多くが展開された。今回はゴルフ部OB会の参戦により上位はゴルフ部OBの面々に占拠された格好となってしまったが、来年は打倒ゴルフ部OB！の意気込みで参戦したいものである。

結果は以下のとおり。

### \*チーム対抗

- 優勝 ゴルフ部Cチーム
- 2位 ゴルフ部Mチーム
- 3位 ゴルフ部Hチーム
- 4位 ゴルフ部Eチーム
- 5位 ラグビー部Bチーム

### \*個人（新ペリア方式）

- 優勝 佐藤 貴俊（ゴルフ部OB会）
- 2位 大友 富雄（ ）
- 3位 室橋 勝彦（ ）
- 4位 小田桐和久（ ）
- 5位 大友 勝博（ ）

### \*ベストスコア

- 大友 富雄 71 (37・34)



表彰式

### 過去の大会成績

#### ○第1回（H22.8.8）

##### チーム対抗

- 優勝 準硬式野球部
- 2位 ゴルフ部
- 3位 仙台同窓会A

##### 個人

- 優勝 渋谷 隆・準硬式野球部
- 2位 菅原 憲美・応援団
- 3位 高橋 昌弘・ゴルフ部後援会

##### B S

- 田中 一也・ゴルフ部

#### ○第2回（H23.8.7）

##### チーム対抗

- 優勝 T GクラブA
- 2位 ゴルフ部B
- 3位 サッカー部

##### 個人

- 優勝 中村 彰・ユアテックT G会
- 2位 大友 富雄・ゴルフ部
- 3位 壹岐 和人・仙台同窓会C

##### B S

- 大友 富雄・ゴルフ部

#### ○第3回（H24.8.5）

##### チーム対抗

- 優勝 ゴルフ部B
- 2位 サッカー部A
- 3位 ゴルフ部A

##### 個人

- 優勝 橋本 直行・ゴルフ部B
- 2位 伊藤 昌俊・硬式野球部B
- 3位 大友 富雄・ゴルフ部A

##### B S

- 三浦 慶郎・サッカー部A

## アフリカ3ヶ国の巡回指導報告

柔道部 高橋 富士男

国際交流基金の派遣によりアフリカ大西洋岸に位置するギニア、コートジボワール、ガボンの3ヶ国を訪問し技術指導と形のデモンストレーションを行った。期間とメンバーは以下のとおり。

期 間：平成2年2月6日から2月18日まで

メンバー：団 長 高橋富士男 八段・東北学院大学

副団長 大島 修次 六段・千葉県警察（国際武道大学卒）

遠藤 浩史 六段・山形県警察（東海大学卒）

秋元 希星 五段・了徳寺学園（筑波大学卒）

### ①ギニア

フランス経由でギニア着。空港で日本大使館職員とギニア柔連コーチ、選手からの出迎えを受け、そのまま日本大使館で用意してくれた車2台に分乗しホテルに向かった。最初は気づかなかったが途中で信号機がひとつも見当たらない。そんな中を軍隊のオートバイに先導されてホテル着。早速荷を解いたが停電が多いのでホテルのエレベーターに乗るのにもそれなりの覚悟がいった。

肝心の柔道であるが、オリンピック等の国際大会出場レベルには達していない。しかし、ナショナルチームの専用道場があり稽古の取り組みも総じて熱心であることから、日本人指導者が定着すればそれなりの戦績が期待できよう。

滞在中は専用道場での指導をメインとしたが、私立大学に出向いてのデモンストレーションも行った。屋外に畳を敷いて炎天下のもとでの演武もアフリカならではの体験である。6階建てのバルコニーは興味深々の学生達で埋め尽くされた。

我々の訪問に合わせて日本大使館杯が開催され熱戦が展開されたが、大使館員の苦労は相当のものであろう。その日の夜に日本国大使主催のパーティが開催され、各国大使とともにギニアの選手諸君も招かれた。日中の試合で激戦の女子選手のほとんどが口紅をつけ、カツラ姿での登場には驚かされた。これも女ごころであろう。



ギニアの大学で形の演武



大使館主催の歓迎会で女子柔道家と

### ②コートジボワール

かつては、フランスから独立した国のなかで「優等生」と言われ繁栄したコートジボワール（旧、象牙海岸共和国）であるが内戦の勃発により日本大使館も一時撤退を余儀なくされ、2年前に大使館業務が再開されたばかりだと言う。しかし、立ち並ぶビルの一部に砲撃のあとはあったもののだいぶ修復され、街のなかは電気が照らされ同じアフリカでもギニアとこうも違うものかと驚かされた。

柔道連盟も若い会長を中心に長老と若手指導者でよくまとまっていた。専用道場入口には「希望館」と

日本語で書かれ道場も室内はファンが廻るなど立派な施設であった。参加者の中にはロンドンオリンピックに出場した選手もいたが、指導陣も積極的に活気ある稽古や指導ができた。

アフリカではエジプト、チュニジアなどの北アフリカ勢が強く、ブラックアフリカではセネガルとカメルーンが競っていてその次がコートジボワールとのこと。政情が安定すれば肩を並べることは十分に可能であろうと思われた。



柔連会長と



ナショナル道場にて

### ③ガボン

空港にはガボン柔連の会長やかつての私の教え子たちが暑い中を背広姿で出迎えてくれた。私にとって4回目のガボン訪問となった。指導の場となった体育館には日本政府からの文化無償で提供されたという真新しい畳が準備されていた。ギニアやコートジボワールでもそうであったが指導陣がipadを利用して我々の指導の様子を撮っていた。

ガボンでも日本大使館杯が開催された。大使の挨拶の頃から突然の豪雨で停電となってしまった。いったん照明も点いたが再度の停電となり、そのうちに会場にランクル2台が入ってきて対角線上からライトで試合場を照らして試合が開始された。このような体験もやはりアフリカならではの体験であろう。因みに試合は一人審判制で実施していてジュリー席ではipadを駆使してチェックしていた。停電でも使えてよかったと変な感心もさせられた。

ガボンは今回の巡回3ヶ国の中で礼法が一番しっかりしていた。若い指導者も育ってきていて将来が楽しみである。ガボンが最終の指導国だったので、私の日の丸のついた柔道着は今は指導者となって活躍しているかつての教え子達にお土産として置いてきた。最高のプレゼントであったようだ。



教え子たちから記念品を



33年前「タカハシ」と命名した娘も母親に

### おわりに

今回は期間が短い中での3ヶ国指導であり、日程的に厳しいものであったが、メンバーともどもに汗をかいて指導し、そして各国柔道関係者と親善を深めることができた。アフリカでの指導も5回目となるが、道衣に日の丸をつけているのでそれなりに真面目にやってきたつもりである。

## 祝！ 2020年東京オリンピック

2013年9月7日（現地時間）にブエノスアイレス（アルゼンチン）で行われた第125次I O C総会の開催地選考で、東京がイスタンブール（トルコ）、マドリード（スペイン）を抑えて選出されました。

2020年（平成32年）7月24日から8月9日まで開催予定の第32回夏季オリンピックは、コンセプトとして「都市の中心で開催するコンパクトな大会」を掲げ、大都市の都心で開催することによるダイナミックな祭典、かつ選手村を会場配置計画の中心に設置して約9割の競技会場が8 km圏内に配置されるなど、移動時間の短縮が可能なコンパクトな配置計画となっています。

メインスタジアムは、1964年東京オリンピックでメインスタジアムとなった国立霞ヶ丘陸上競技場を建て直して建設される新国立競技場（別名：オリンピックスタジアム）。その他、主に内陸部のヘリテッジゾーンと臨海部の東京ベイゾーンに分けられる各会場群にて競技が行われます。

また、サッカーの会場として地元宮城スタジアムの使用が予定されています。

七年後に向けて、国をあげて各競技のレベル向上に力を入れて頂き、メダルの獲れる人材を育成してほしいものです。



## 平成25年度 T G スポーツ O B 連合会総会 議事録

1. 日時：平成25年2月6日(水) 18:00~18:45

2. 場所：仙台国際ホテル

3. 出席：36団体/110名

合気道部、アメリカンフットボール部、空手道部、弓道部、剣道部、硬式野球部、ゴルフ部、サッカー部、山岳部、少林寺拳法部、自転車競技部、柔道部、準硬式野球部、水泳部、スキー部、スキューバダイビング部、相撲部、ソフトテニス部、体操競技部、卓球部、軟式野球部、ハンドボール部、バスケットボール部、バドミントン部、バレーボール部、フェンシング部、ボート部、ボクシング部、ヨット部、ライフル射撃部、ラグビー部、陸上競技部、レスリング部、ワンダーフォーゲル部、応援団、体育会常任幹事会。

欠席：10団体

硬式庭球部、航空部、サイクリング部、自動車部、スケート部、馬術部、ボウリング部、ボディビル部、ラクロス部、洋弓部。

4. 議事の経過及び結果

会則11条に基づき本間良一会長が議長となり議事に入った。

議事録署名人に柔道部OBの佐藤勇三氏とラグビー部OBの塚本隆文氏の2氏を選出した。

### 【報告事項】

以下の(1)～(5)について中野総務委員長から報告がなされた。

(1) 第3回T G・チーム対抗ゴルフ大会の開催結果について

平成24年8月5日、杜の都ゴルフ倶楽部において開催し、48名参加した。

(2) 会報「躍動」第4号の発行について

平成24年10月1日に発行した。平成25年度は8月1日の発行としたい。

(3) 創部記念事業の開催について

①菊田杯第50回記念&女子卓球部創部50周年記念祝賀会(平成24年7月14日)

②ラグビー部創部80周年記念式典・祝賀会(平成24年9月1日)

③ヨット部創部60周年記念祝賀会(平成24年11月10日)

これら式典にT GスポーツOB連合会長、または副会長が出席しお祝いを述べた。

(4) OB会長の交代について

準硬式野球部OB会 天江皓一氏 ⇒ 山本 剛氏(昭42文経卒)

(5) 理事の交代について

柔道部OB会 高橋富士男氏 ⇒ 阿部文智氏(平9経経卒)

応援団OB会 海老田保夫氏 ⇒ 本間裕治氏(昭54経商卒)

### 【審議事項】

(1) 平成24年度事業報告について(資料1)

資料をもとに山田事務局長から説明、報告がなされた。

(2) 平成24年度収支決算報告について（資料2）

資料をもとに武田財務委員から説明、報告がなされた。

収入1,469,865円 支出1,006,735円 繰越金463,130円

監査報告（資料）

松本宏一監事（スキー部OB）から、八島康治監事（準硬式野球部OB）と1月31日に会計監査を行なった結果、適正処理との監査報告がなされた。 < (1) ~ (2) 承認 >

(3) 平成25年度事業計画案について（資料3）

資料をもとに山田事務局長から説明がなされた。

(4) 平成25年度収支予算案について（資料4）

資料をもとに武田財務委員から説明がなされた。

収入1,713,230円 支出1,390,000円 予備費323,230円

< (3) ~ (4) 承認 >

(5) 平成24年度勲功章案について（資料5）

資料をもとに中野総務委員長から説明がなされた。

451号から458号まで14名の表彰を承認。

< (5) 承認 >

(6) 会則の改定案について（資料6）

資料をもとに、会則第1条の文言修正及び第5条の削除について、中野総務委員長から説明がなされ全会一致で承認。

< (6) 承認 >

(7) 年会費の値上げ案について（資料7）

資料をもとに、提案の主旨等について、中野総務委員長から説明がなされ全会一致で承認。

< (7) 承認 >

(8) 加盟届案について（資料8）

資料をもとに、提案の主旨等について、中野総務委員長から説明がなされ全会一致で承認。

< (8) 承認 >

(9) 役員改選案について（資料9）

資料をもとに、役員案について、中野総務委員長から説明がなされ全会一致で承認。

< (9) 承認 >

議長の本間会長は、その他の議案がないことを確認した。以上により本総会の議事を終了し本間会長は閉会を宣言した。



仲嶋新会長から本間会長に感謝状と記念品を



交流会

# 平成24年度 事業報告

<平成24年1月1日～12月31日>

資料1

年	月	日	曜日	事業名	場所等
24	1	17	火	常任理事会（第1回）	TGサテライトステーション
	11	24	火	財務委員会	TGサテライトステーション
	1	31	火	理事会（第1回）	TGサテライトステーション
	2	9	木	平成24年度TGスポーツOB連合会総会&交流会 平成23年度勲功章授与式（第446号～第450号）	仙台ガーデンパレス
	5	15	火	東北学院創立記念式典（126周年）	
	6	11	月	理事会（第2回）	大学8号館会議室
	6	19	火	常任理事会（第1回）	大学8号館会議室
	7	3	火	企画広報委員会	大学8号館会議室
	7	14	土	菊田杯第50回記念&女子卓球部創部50周年記念祝賀会	ホテルメトロポリタン
	8	5	日	第3回TG・チーム対抗ゴルフ大会	杜の都ゴルフ倶楽部
	9	1	土	ラグビー部創部80周年記念祝賀会	仙台国際ホテル
	9	25	火	学長室主催スポーツ講演会（講師：早稲田大学スポーツ理事）	大学押川会館
	10	1	水	会報「躍動」第4号発行	
	11	10	土	ヨット部創部60周年記念祝賀会	アークホテル仙台
11	22	木	常任理事会（第3回）	TGサテライトステーション	

# 平成24年度 収支決算書

<平成24年1月1日から平成24年12月31日>

資料2

<収入>

(円)

摘要	24年度 予算	24年度 決算	増減	備考
繰越金	165,288	165,288	0	
総会費	720,000	648,000	△ 72,000	会員108名 (@6,000円)
年会費	230,000	180,000	△ 50,000	36団体 (@5,000円)
会報広告協賛費	200,000	135,000	△ 65,000	会報「躍動」第4号
預金利息	135	77	△ 58	
雑収入	350,000	341,500	△ 8,500	ご祝儀、オリジナル帽子売上代
合計	1,665,423	1,469,865	△ 195,558	

<支出>

摘要	24年度 予算	24年度 決算	増減	備考
総会費	720,000	598,100	△ 121,900	仙台ガーデンパレス
表彰費	100,000	49,875	△ 50,125	勲功賞盾、額縁等
印刷費	270,000	273,000	3,000	会報「躍動」第4号
事業費	0	0	0	
通信費	20,000	21,000	1,000	各事業案内、報告文書郵送料、ハガキ代等
会議費	25,000	13,000	△ 12,000	常任理事会、理事会、各専門委員会
事務費	10,000	21,340	11,340	ゴム印等
委託費	50,000	0	△ 50,000	ホームページ更新料
慶弔費	20,000	30,000	10,000	OB会祝賀会ご祝儀（卓球、ラグビー、ヨット）
雑費	30,000	420	△ 29,580	振込手数料
小計	1,245,000	1,006,735	△ 238,265	
繰越金	0	463,130	463,130	
予備費	420,423	0	△ 420,423	
合計	1,665,423	1,469,865	△ 195,558	

## 平成25年度 事業計画 (案)

<平成25年1月1日~12月31日>

資料3

年	月	日	曜日	事業名	場所等
25	1	17	火	常任理事会 (第1回)	TGサテライトステーション
	1	23	水	理事会 (第1回)	大学8号館会議室
	2	6	水	平成25年度TGスポーツOB連合会総会&交流会	仙台国際ホテル
				平成24年度勲功章授与式 (第451号~第 号)	
	2	9	土	ライフル射撃部創部50周年記念式典	仙台国際ホテル
	5	15	水	東北学院創立記念式典 (127周年)	
	8	1	木	会報「躍動」第5号発行	
	8	4	日	第4回TG・チーム対抗ゴルフ大会	杜の都ゴルフ倶楽部

(※常任理事会、理事会、専門委員会は必要により随時開催する。)

## 平成25年度 収支予算書 (案)

<平成25年1月1日から平成25年12月31日>

資料4

<収入>

(円)

摘要	24年度 決算	25年度 予算	増減	備考
繰越金	165,288	463,130	297,842	前年度からの繰越金
總會費	648,000	720,000	72,000	6,000円×120名
年会費	180,000	230,000	50,000	5,000円×46団体
会報広告協賛費	135,000	200,000	65,000	会報第5号
預金利息	77	100	23	
雑収入	341,500	100,000	△ 241,500	ご祝儀等
合計	1,469,865	1,713,230	243,365	

<支出>

摘要	24年度 決算	25年度 予算	増減	備考
總會費	598,100	700,000	101,900	
表彰費	49,875	100,000	50,125	勲功賞表彰経費
印刷費	273,000	280,000	7,000	会報「躍動」印刷費+郵送料
事業費	0	100,000	100,000	
通信費	21,000	30,000	9,000	各事業案内等郵送料、ハガキ代
会議費	13,000	20,000	7,000	専門委員会等
事務費	21,340	20,000	△ 1,340	
委託費	0	100,000	100,000	ホームページ更新料 (H24.25年分)
慶弔費	30,000	30,000	0	OB会祝賀会祝儀、電報代等
雑費	420	10,000	9,580	振込手数料、その他
小計	1,006,735	1,390,000	383,265	
繰越金	463,130	0	△ 463,130	
予備費	0	323,230	323,230	
合計	1,469,865	1,713,230	243,365	

## 平成24年度（2012） T G スポーツ O B 連合会 勲功章表彰（案）

資料5

No.	表彰No.	表彰団体・同個人	所属	学部・学年・卒年	表彰理由
1	451	仙台艇友会 鈴木 和雄 鈴木 俊 千田 宏 成沢 礼義 伊東 俊一 杉船 敏彦	ボート部OB会	昭和45年経経卒 昭和45年経経卒 昭和45年経経卒 昭和45年経商卒 昭和45年経経卒 昭和45年経経卒	仙台艇友会（OB会名称）一発会として大会出場 2012年 全日本マスターズボート選手権大会 （埼玉県 戸田ボートコース） ナックルフォア（60歳～65歳）優勝 2012年 河北レガッタボート選手権大会 （宮城県 長沼ボートコース） ナックルフォア（40歳以上壮年の部）優勝
2	452	加藤 祐太	ラグビー部OB （セコムラグッツ）	平成20年経経卒	男子7人制ラグビーの日本代表。ワールドカップセブンズアジア地区大会の優勝に貢献、2013モスクワ大会への出場権を得た。
3	453	伊藤 祐介	硬式野球部	経経4年	仙台六大学秋季リーグ戦において13季ぶり本学優勝に貢献、また、福岡ソフトバンク球団からドラフト2位指名。
4	454	大山 宏仁	自転車競技部	営営2年	第53回全日本学生選手権トラック自転車競技会ケイリン 優勝
5	455	大田口 凌	自転車競技部	経共2年	全日本学生RCS箱根ターンバイク・ヒルクライム・ラウンド 準優勝
6	456	門脇 翼	自転車競技部	経経1年	文部科学大臣杯第68回全日本大学対抗選手権自転車競技会1,000メートルタイムトライアル 準優勝
7	457	内海 将太	軟式野球部	法法3年	第7回日台大学軟式野球国際親善大会（2012.12台湾）日本代表
8	458	千葉 周平 成田 樹	少林寺拳法部	法法1年 経経1年	2012年少林寺拳法全国大会 一般男子二段の部 最優秀賞（優勝）



勲功章受賞のみなさま

## T G スポーツ O B 連合会 会則

(名称・組織)

第1条 本会は、T G スポーツ O B 連合会と称し、東北学院大学体育会各部 O B、並びに応援団 O B、及び理事会で推薦した者を以って組織する。

(目的)

第2条 本会は東北学院スポーツの振興と発展のため、物心両面の援助を図るとともに、会員相互の融和と団結を図り母校の隆盛に寄与することを以って目的とする。

(事務局)

第3条 本会の事務局を東北学院大学内に置く。

(事業)

第4条 本会は第2条の目的を達成するため、次の事業を行なう。

1. 優秀団体、優秀選手の表彰
2. 指導者講習会
3. 体育会所属学生への指導、援助
4. 会員名簿の管理
5. 交流会
6. その他、会の運営に必要な事業

(会員)

第5条 本会の会員を下記二種に区分する。

1. 正会員
2. 特別会員

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

1. 会 長 1名
2. 副 会 長 3名
3. 理 事 長 1名
4. 常任理事 15名
5. 理 事 各部より2名、並びに会長委嘱の者若干名
6. 事務局長 1名
7. 監 事 2名
8. 顧 問 若干名
9. 名誉会長、相談役、参与を置くことができる。

(選任)

第7条 役員を選任は次による。

1. 会長並びに理事長は理事会において推薦され総会で承認を得る。
2. 副会長は会長が指名する。
3. 理事は各部 O B 会から選出された者と会長委嘱の者とし、理事会を構成する。理事会は理事長、常任理事をそれぞれ推薦、選出し、総会の承認を得る。
4. 事務局長は理事会において選出する。
5. 監事は総会において会員の中から選出する。
6. 顧問は各 O B 会等から推薦された者、及び本会の発展に特に功労があった者を会長が委嘱する。
7. 名誉会長、相談役、及び参与は会長が委嘱し、総会で承認を得る。

(役員の仕事)

第8条 1. 会長は本会を代表し、会務を総理する。

2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時はこれを代行する。
3. 理事長は事業の実務の執行を指示し管理する。
4. 常任理事、及び理事は具体的な実務の執行を行なう。
5. 事務局長は本会の円滑な運営のため事務全般を担当する。
6. 監事は定時総会において監査の結果を報告する。
7. 顧問は重要事項につき会長の諮問に応じる。

(任期)

第9条 役員任期は2ケ年とする。但し再任を妨げない。

(会議)

第10条 本会に次の会を置く。

1. 総会
2. 常任理事会
3. 理事会
4. 専門委員会

第11条 総会は年一回開催し、会長がこれを招集し議長となる。臨時総会は必要ある時に、会長がこれを招集する。

第12条 総会は本会の最高の意思決定事項とし、次の事項を決議する。

1. 事業報告及び収支決算
2. 事業計画及び収支予算
3. その他重要な事項

第13条 常任理事会、理事会及び専門委員会は理事長が必要に応じて召集する。

第14条 総会、常任理事会、理事会の議事は、出席者の過半数を以て決定し、可否同数の場合は会長の決するところによる。

(会計)

第15条 本会の会費は、体育会各部OB会、並びに応援団OB会より年会費を徴収する。その他、助成金、寄付金を以て会の運営費に充てる。

第16条 本会の会計については、事務局で管理する。

第17条 本会の事業、会計年度は1月1日に始まり同年12月31日に終わるものとする。

付 則

1. 会則

本会則は昭和48年（1973）11月22日から施行する（会名称は春秋会）

平成2年（1990）2月6日、会則の一部改正（総会）

平成6年（1994）10月28日、会則一部改正（臨時総会）

会名称変更。春秋会からTGスポーツOB連合会に

平成14年（2002）2月12日、会則の一部改正（総会）

副会長枠数、役員選任方法の一部改正

平成18年（2006）2月16日、会則の一部改正（総会）

幹事名称を理事名称に変更。専門委員会の設置、会計年度の変更

平成19年（2007）2月15日、会則の一部改正（総会）

終身会費の廃止

平成20年（2008）2月14日、会則の一部改正（総会）

第2条、スポーツ推薦等と、の文言を削除

2. 年会費は別に定める。
3. 表彰規定は別に定める。
4. 専門委員会規定は別に定める。
5. 慶弔規程は別に定める。

## T G スポーツ O B 連 合 会 役 員

＜平成25・26年度＞

顧 問    平河内健治 東北学院理事長  
          星宮 望 東北学院長  
          松本 宣郎 東北学院大学長

相 談 役    佐々木俊三 副学長・学長室長  
          石塚 秀樹 学生部長  
          原田 善教 体育会長

参 与    加盟団体各 O B 会長

役 職	氏 名	卒年・学科	所 属 部	備 考
名誉会長	本間 良一	S33文経	サッカー部	宮城県サッカー協会
会 長	仲嶋 一雄	S41文経	ハンドボール部	ハンドボール部 O B 会長
副 会 長 (3名)	佐藤 順	S45経商	サッカー部	サッカー部 O B 会長 (O B 会会長枠)
	高橋富士男	S45法法	柔道部	柔道部師範 (会長指名枠)
	栗野 真	S52経経	ライフル射撃部	ライフル射撃部監督 (監督会枠)
理 事 長	大友 富雄	S55経経	ゴルフ部	ゴルフ部監督
常 任 理 事 (15名)	熊谷 聖	S41文経	弓道部	弓道部 O B 会長
	藤井 治夫	S45経商	ワンダーフォーゲル部	ワンダーフォーゲル部 O B 会幹事
	鈴木 和雄	S45経経	ボート部	ボート部 O B 会長
	菊地 正	S46経経	バドミントン部	バドミントン部監督
	武田三子雄	S47経経	剣道部	剣道部副部長
	中野 信朗	S50経経	スキー部	スキー部副部長 (事務局兼務)
	伏見 善成	S50経商	準硬式野球部	準硬式野球部監督、監督会副会長
	千葉 幹雄	S53経経	自転車競技部	自転車競技部 O B 会副会長
	伊藤 昌俊	S53経経	硬式野球部	硬式野球部 O B 会幹事長
	高橋 公晴	S56経経	アメリカンフットボール部	アメフト部 O B 会副会長
	山田幸太郎	S57経経	ヨット部	ヨット部コーチ
	下山 正人	S57経経	スキューバダイビング部	スキューバダイビング部 O B 会事務局長
	萩生恵治郎	S57経商	ゴルフ部	ゴルフ部 O B 会事務局長
	増田 孝夫	S63文史	卓球部	卓球部監督
理 事	加盟団体より各 2 名			
監 事	八島 康治	S52経経	準硬式野球部	
	松本 宏一	S56経経	スキー部	
事務局長	山田 純	H6経商	ラグビー部	ラグビー部副部長
事 務 局	石田 伸彦	H6教人	水泳部	水泳部副部長
	阿部 文智	H9経経	柔道部	柔道部監督

＜事務局＞ 980-8511青葉区土樋1-3-1 東北学院大学学生課内 TEL022-264-6474 (阿部)

## TGスポーツOB連合会 オリジナルキャップのご紹介

このたび、TGスポーツOB連合会ではオリジナルキャップを作成しました。色はホワイトとブルーの2色となります。お問い合わせは学生課 中野まで (022-264-6474)



**1,500 円で販売中!**

### 各部のキャラクターを作りますか

いま数部でオリジナルのキャラクターを作成しTシャツ等にプリントして活用しております。

宮城の県獣であります「鹿」をキャラクターとしておりますが、ご希望の部(団体)がありましたらお申し出ください。

デザインは熊谷清デザイン事務所をお願いしておりますが、肝心のデザイン料は3万円以内とし、交渉にも応じるとのことでありました。現役部員、OBにとっての「わが部のキャラクター」としていかがでしょうか。



柔道部



スキー部



TGスポーツOB連合会  
<http://www.tgaa.jp/>